

令和4年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

概 要

開催日時: 令和5年2月8日(水) 14:00～16:05

会 場: 埼玉建産連研修センター 3 階 大ホール

令和5年2月

埼玉県土木施工管理技士会

技術顧問 山口 勝

令和4年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

埼玉県土木施工管理技士会

開催日時：令和5年2月8日(水) 14:00～16:05

会 場：埼玉建産連研修センター

司会進行：技術委員長 井上 昭司

次 第

1. 挨拶 14:00～14:10
埼玉県土木施工管理技士会
会 長 松本 泰典
埼玉県県土整備部建設管理課
課 長 高橋 厚夫 様
2. 出席者紹介 14:10～14:20
3. 情報提供 14:20～14:45
 - 1) 建設管理課 14:20～14:45
 - ・キャリアアップシステムについて 建設企画担当主幹 天野 圭太 様
 - ・中間前払金の活用促進について 建設企画担当主幹 天野 圭太 様
 - ・「適切な価格転嫁」のお願い～サプライチェーン全体での共存共栄のために～
技術管理担当主幹 宮澤 聡明 様
 - 2) 埼玉県技士会 14:45～15:00
 - ・埼玉県土木施工管理技士会の紹介
 - ・全国技士会「令和3年度土木施工管理技士アンケート結果」概要説明
埼玉県土木施工管理技士会 技術顧問(兼)副会長 山口 勝
4. 休 憩 15:00～15:10
5. 意見交換 15:10～16:10
 - ・提案議題の趣旨説明
埼玉県土木施工管理技士会 技術顧問(兼)副会長 山口 勝
 - ・意見交換
6. 自由討議 16:10～16:25
7. 閉会挨拶 埼玉県土木施工管理技士会 副会長 根岸 清志 16:25～16:30

《新型コロナウイルス感染症防止対策として、検温、手指消毒、マスクの着用をお願いします。》

以 上

配 布 資 料

1. 次 第

2. 出席者名簿

3. 座席表

資料 - 1 埼玉県県土整備部建設管理課
「建設管理課の取り組み」

資料 - 2 埼玉県土木施工管理技士会

- 「埼玉県技士会の紹介」
- (別冊) 令和3年度(2021)
土木施工管理技士アンケート結果 ～現場技術者の声～
(一社)全国土木施工管理技士会連合会

資料 - 3 令和4年度 意見交換会 提案議題

資料 - 4 令和4年度 意見交換会 提案議題 参考資料

**提案議題に対する埼玉県からの回答に関しては非公開としますが、
回答についてご質問のある方は、下記にお問い合わせください。**

《 問合せ先 》 埼玉県土木施工管理技士会 技術顧問 山口 勝

TEL: 049-229-5622(代表)

FAX: 049-229-5633(代表)

TEL: 049-298-3903(直通)

E-mail: m-yamaguchi.gisikai@waltz.ocn.ne.jp

令和4年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会 出席者名簿

埼玉県土木施工管理技士会				
	支部名	役職名	氏 名	会 社 名
1	川 越	会 長	松本 泰典	(株)関東建設
2	本 部	技術顧問 副 会 長	山口 勝	埼玉県土木施工 管理技士会
3	さい たま	副 会 長 支 部 長	根岸 清志	島田建設工業(株)
4	〃	副支部長	稲葉 雄三	(株)ユーディケー
5	〃	副支部長	国分 彦宏	和光建設 (株)
6	〃	副支部長	松山 敏彦	(株)松永建設
7	朝 霞	支 部 長	水久保幸之助 (欠席)	五島工業 (株)
8	〃	副支部長	木下 武久	木下建設 (株)
9	北 本	支 部 長	中居 秀樹	(株)東 栄
10	〃	副支部長	梶山 健	梶山工業(株)
11	川 越	支 部 長 代理出席	日向 貴一 細目 只夫	日栄建設(株) 初雁興業 (株)
12	〃	副支部長	水戸喜代志	(株) 太田組
13	飯 能	支 部 長	駒井 克男	駒井建設 (株)
14	〃	副支部長	高野 修	(株)加藤建設工業
15	東松山	支 部 長	鈴木 光由	(株)島村工業
16	〃	副支部長	新藤 恭明	(株) 中村組
17	秩 父	支 部 長	守屋 一男	(株) 岩田組
18	〃	副支部長	三ツ井一浩	秩父土建 (株)
19	本 庄	支 部 長	蛭川 修	真下建設 (株)
20	〃	副支部長	鈴木 元道 (欠席)	(株) 関口組
21	熊 谷	支 部 長	丸橋 達雄	田部井建設(株)
22	〃	副支部長	榎本 修	古郡建設(株)
23	行 田	支 部 長	小暮 一男	こぐれ建設 (株)
24	〃	副支部長	小賀野真弘	小川工業(株)
25	越 谷	支 部 長	金澤 嘉和 (欠席)	池中建設(株)
26	〃	副支部長	佐藤 孝治	(株)春日部資材
27	杉 戸	支 部 長	井上 昭司	(株)井上工務店
28	〃	副支部長	星野 暢良	星野工業 (株)

埼玉県県土整備部			
	所 属	職 名	氏 名
1	建設管理課	課 長	高橋 厚夫
2		副課長	近藤 孝夫
3		建設企画担当 主 幹	天野 圭太
4		土木積算建設 IT 担当 主 幹	野川 裕之
5		土木積算建設 IT 担当 主 査	河田 清史
6		技術管理担当 主 幹	宮澤 聡明
7		技術管理担当 主 査	高木 基史
8		技術管理担当 主 査	宮崎 文生
9		—	—
10	さいたま 県土	施工監理担当課長	井上 雄太
11	朝霞県土	施工監理担当課長	秋山 浩幸
12	北本県土	—	—
13	川越県土	施工監理主幹	柳下 和之
14	飯能県土	—	—
15	東松山県土	—	—
16	秩父県土	施工監理主幹	門間 崇
17	本庄県土	施工監理主幹	富澤 弘二
18	熊谷県土	施工監理担当課長	尾田 夕妃
19	行田県土	施工監理主幹	鈴木 弘英
20	越谷県土	施工監理主幹	井上 隆二
21	杉戸県土	施工監理担当課長	関永 一起
22	総合技術セ ンター	土木工事検査担当 副主席工事検査員	大屋 稔
23	西関東連絡 道路建設事 務所	建設担当部長	中山 洋
24	鉄道高架建 設事務所	建設担当 担当課長	福永 学

令和4年度 埼玉県県土整備部との技術懇談会

開催日：令和5年2月8日（水）14:00～16:10

会場：埼玉建産連研修センター 3階大ホール

埼玉建設新聞 2023年（令和5年）2月14日（火）

県土整備部と技術懇開催 諸課題で認識共有 県土木施工管理技士会

埼玉県土木施工管理技士会は8日、県土整備部

との技術懇談会をさいたま市内の埼玉建産連研修センターで開いた。技士会からは設計・積算や総合評価方式、生産性の向上・働き方改革に関することなど14項目を議題として提案。技士会で技術顧問兼副会長を務める山口勝氏が代表して提案内容を説明し、県がそれぞれ回答。県は「できることは早期に改善したい」と述べるとともに、諸課題で認識を共有した。

冒頭、松本会長は「社会がデジタルトランスフォーメーション（DX）に向かっていく中、建設業の改革を進めることができる時だと思ふ。われわれが行う提案や要望について指導を仰ぎたい」と述べ、有意義な会となるよう期待。県建設管理課の高橋課長は「新型コロナウイルスにより、私たちの生活様式が大きく変わり、デジタル化やペーパーレス化が急速に進んだ。建設業においてもICT施工などデジタル化による生産性の向上が図られている。本日は県からの情報提供のほかに、技士会からいただいた議題につ

いて意見交換するが、受発注者双方の共通認識を図るため、忌憚のない意見を伺い、さらなる技術の向上や働き方改革につながることを期待している」と応じた。

意見交換会は、設計や積算に関することからスタート。条件明示と工事工程表の開示や、当初契約に新規工種が追加された場合には、当初契約時の落札率を適用せず随意契約として発注するよう求めた。

総合評価に関しては、継続教育（CPD）の取り組み評価と対象工事拡大について技士会が「継続して資質能力の維持・向上に取り組んでいる技

術者は、適切な評価をしてほしいと思う。土木Ⅱ型、若手育成型にもCPDを評価の対象としてほしい」と求めた。これに対して県側は「評価項目選択型等は、発注者の判断により選択できる評価項目として設定している。技術者にとって継続学習制度は、最新の知識や技術を習得する欠かせないもの」と認識している。状況をしっかりと把握しながら評価項目の対象について検討していきたい」と述べた。

県産品の選定については「県産品として選定されるものには、県産品に該当しない場合がある。該当の有無を確認してほしい」と求めると、県側は「工場を確認しても、その商品を実際は工場で作していないといった事例もあったと聞いている。こうした状況を回避するために、事前の確認を十分行ってから工事発注するよう各発注機関に働きかける」と理解を求めた。

工事関係書類の電子納品について質問すると県側は「工事情報共有システム（ASP）は昨年4月から、当初設計金額6000万円以上を対象に本格導入を開始している。今年度の実績状況



活発に意見が交わされた

踏まえ、次年度以降は当初設計金額3000万円以上へ拡大を予定している。また、電子納品運用ガイドラインも現在見直しを行っている。APSは規模に限らず受注者希望の利用は受発注協議で可能だ」とし、積極的な活用を呼び掛けた。

検査書類の簡素化について技士会が「関東地方整備局では2021年度より検査書類限定型工事として、検査書類を10種類に限定して検査を実施している。埼玉県では導入についてどのように考えているか」と質すと、県側は「総合技術センターの土木工事検査員と意見交換したところ、国交省が実施している検査書類限定型の10種類で十分ではないかとの意見を聞いている。安全対策に係る書類は検査とは別に確認することも考えられる。国交省や他県の事例を参考にしながら書類の簡素化を行っていきたい」との考えを示した。

意見交換終了後、高橋課長は「本日はいろいろ技士会の実情をお伺いした。できることは早めに対応し、すべての要請事項に対し、改善できることは改善していきたい」と総括した。



挨拶 埼玉県県土整備部 建設管理課 高橋課長



挨拶 埼玉県土木施工管理技士会 松本会長



提案議題説明 埼玉県土木施工管理技士会 山口技術顧問



閉会挨拶 埼玉県土木施工管理技士会 根岸副会長